

# スーパータンパク質「EGF」サプリメント発売

## 9粒でツバメの巣10個分のEGFパワー発揮

### バイオリンク販売

できるわけだ。

EGFが1mg(1,000IU)摂取できる。これは健康人が1日かけて分泌する

唾液約1Lに含まれるEGFとほぼ同じ量で、燕の巣約10個分に含まれるEGFに相当するという。剤形も飲みやすい丸型のタブレットで、水などでも簡単に飲むことができる。さらに製剤には美肌作りに欠かせない成分(ヒアルロン酸、コラーゲン、ホエイ、CoQ10、Fを登録商標にしている。

## 日本EGF協会 認定商品に登録

EGFはそのすぐれたスーパーア効果からここ最近、EGF配合化粧品が注目を集めている。日本ではバイオリンク販売が2005年に初めてEGF配合化粧品を発売を開始し、3年ですでに60万個(OEMを含む)を販売する大ヒット商品に押し上げたが、サプリメントへの応用はなかった。しかし、EGFアームを便乗した商品ブランド(EGF)が含まれているという理由でブラセンタや燕の巣ドリンクが市場に参入し、一石を投じる意味からも、「EGFそのものを配合したサプリメント開発が急務」として、同社で

は、EGFサプリメントの開発、発売に踏み切った。その名も「EGFエクストラサプリ」では、微生物発酵法によって製造された貴重なEGFを配合することにより初めて成功した。また、製品には化粧品で高品質保証マークを認定する第三者機関・日本EGF協会のマークが添付されており、協会認定商品として登録されている。

「EGFエクストラサプリメント」(250mg×180粒入り)は1瓶で20mg(2,000IU)のEGFを配合しており、1日摂取量の目安(6~9粒)、9粒でEGF

## EGFでノーベル賞受賞

### スタンレー・コーエン

【ノーベル賞受賞とEGF】

その後研究が進み、EGFは唾液に多く含まれ、その分泌が多いほど健康であることが確認された。また唾液以上に豊富に含まれているのが母乳で、特に初乳には100ccあたりの10mgと

EGFは上皮成長因子や上皮細胞増殖因子などと呼ばれる活性因子で、そのためにAMES(変異原性)試験、残留遺伝子試験、子宮頸がんラット腫瘍試験など、医薬品GMP製造基準をすべて満たした原料となっている。

「EGF」は53個のアミノ酸から形成される一種のタンパク質で、スタンレー・コーエン博士によって発見された。博士はEGFの配列識別とその機能のバイオニアとして、1986年にノーベル生理学医学賞を受賞。

この後研究が進み、EGFは唾液に多く含まれ、その分泌が多いほど健康であることが確認された。また唾液以上に豊富に含まれているのが母乳で、特に初乳には100ccあたりの10mgと

EGFは上皮成長因子や上皮細胞増殖因子などと呼ばれる活性因子で、そのためにAMES(変異原性)試験、残留遺伝子試験、子宮頸がんラット腫瘍試験など、医薬品GMP製造基準をすべて満たした原料となっている。

「EGFエクストラサプリメント」(250mg×180粒入り)は1瓶で20mg(2,000IU)のEGFを配合しており、1日摂取量の目安(6~9粒)、9粒でEGF

この後研究が進み、EGFは唾液に多く含まれ、その分泌が多いほど健康であることが確認された。また唾液以上に豊富に含まれているのが母乳で、特に初乳には100ccあたりの10mgと

EGFは上皮成長因子や上皮細胞増殖因子などと呼ばれる活性因子で、そのためにAMES(変異原性)試験、残留遺伝子試験、子宮頸がんラット腫瘍試験など、医薬品GMP製造基準をすべて満たした原料となっている。

「EGFエクストラサプリメント」(250mg×180粒入り)は1瓶で20mg(2,000IU)のEGFを配合しており、1日摂取量の目安(6~9粒)、9粒でEGF

この後研究が進み、EGFは唾液に多く含まれ、その分泌が多いほど健康であることが確認された。また唾液以上に豊富に含まれているのが母乳で、特に初乳には100ccあたりの10mgと

EGFは上皮成長因子や上皮細胞増殖因子などと呼ばれる活性因子で、そのためにAMES(変異原性)試験、残留遺伝子試験、子宮頸がんラット腫瘍試験など、医薬品GMP製造基準をすべて満たした原料となっている。

※後日調査したところ「EGFエクストラサプリメント」9粒で摂取できるEGFは、ツバメの巣約100個分に相当することが判明しました。